

令和6年度 2学期 始業式 校長式辞

長い（44日間）の夏休み、皆さんは、どんな夏休みだったでしょうか？
うまくいった点・あまりうまくいかなかった点さまざまでしょうが、2学期という前を向いて進んでいきましょう。

「**業**を始める式」と書いて始業式、皆さんにとって『業』とは何ですか？
『業』とは、目標であり目的のことです。

2学期をスタートするに当たり、『業』（言い換えれば、『目標あるいは目的』となるのでしょうか。）を設定する際に、心掛けて欲しい・思い出して欲しい事をお話しします。

言う事は1学期と変わりません！

「**学校目標 新たな一面の「己を磨く」**
校訓 自律・共生・創造」

の言葉を中心に2学期の活動全体で頑張りましょう！

これだけでは、・・・・・・・・・・・・・・・・（あまり心に響かないでしょう。）

●校訓の一文字目の由来から、**思い出して欲しい事**を紹介します。

『自』まさに、**鼻**が由来で、顔を意味するようで、自分自身という時のしぐさからきているそうです。

『共』は、**二人で荷物を持っている姿**からきているそうです。

ポイントは、二人とも同じ向きで・同じ大きさであることだそうです。

『創』では、倉をつくるという意味があることは、想像できるでしょう。では、右側のリ（りっとう）は何でしょう。これは『刀（斧）』だそうです。

木材に斧で傷をつけ始め、倉を建てることからきているそうです。

つまり、本校の校訓には、

「私自身が、誰かと共に、傷をつけましょう。」という願いが込められています。2学期の係や様々な活動の分担あるいは自分自身の勉強や生活面などの目標を立てる際には、「**自ら、共に、創り出そう！**」この言葉を思い出して欲しいと思います。せめて、「**鼻**」「**荷物を持つ二人**」「**斧**」のイラストは、思い出して欲しいと思います。

2学期には、たくさんの活動があります。（まずは『合唱祭』かな？）
自分自身の目標・目的（業）をしっかりと立て、みんなと一緒に頑張っていきましょう。

令和6年9月2日

長崎市立三川中学校
校長 神尾 進二